

第55期中間報告書

平成19年4月1日～平成19年9月30日

 南海プライウッド株式会社



美しさに富み、
心やすらぐ
快適な住環境をつくる
「木」の再現を
求めつづけます。

ごあいさつ

代表取締役社長

丸山 徹



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
ここに第55期中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期のわが国経済は、企業主導により景気の回復基調が続き、設備投資は増加し個人消費も底堅く推移しました。しかし、住宅業界におきましては、平成19年6月20日に施行されました改正建築基準法が新設住宅着工戸数に影響を及ぼし、7月より前年を大きく下回る着工戸数となりました。これは、耐震偽装の再発防止のための建築確認審査を厳しくしたことが原因であります。

このような状況のなか、当社グループは、インドネシアの子会社PT.NANKAI INDONESIAの工場に収納材製品の工場棟を増設し生産体制の整備を行いました。

また、販売面におきましては、4月より販売開始しました自由設計型システム収納材「オオ」の拡販に力を注ぎ、収納部材「アートランバー・シェルホワイト」を1ミリ単位でオーダーズカットするシステムを顧客に提案しております。市場のニーズに応えたオリジナル製品を提供することにより“収納材製品は南海に”と言っていただけるように「収納材のトップメーカーを目指す」ことを目標に鋭意努力してまいります。

今後の景気は、緩やかな回復基調を続けていくと予想しておりますが、住宅業界におきましては、企業間競争の激化による厳しい状況が続いていくと推測しております。

当社グループといたしましては、たゆみない経営革新により市場の環境変化に迅速に対応するとともに、企業の社会的責任を全うし、適正で効率的な経営を進めていくため、コーポレート・ガバナンス（企業統治）の強化に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月


南海プライウッド株式会社

中期経営計画マップ

当社は、「経営ならびに製品の独自性と安定成長」を経営理念とし「収納材のトップメーカーを目指す」ことを経営方針に掲げ、平成19年度中期経営計画を作成し4つの視点から目標達成に向けて取り組んでおります。

経営理念

経営ならびに製品の独自性と安定成長

経営方針・ビジョン

収納材のトップメーカーを目指す

1 経営(イノベーション&スピード)

たゆみない経営革新により
市場の環境変化にすばやく対応。

2 人(チャレンジ)

目標に向かって積極果敢に
挑戦する人材づくり。

3 テクノロジー(製品)

環境に配慮した独自性のある
「ものづくり」。

財務の視点

企業価値の向上

(単位:百万円)

	3年後 単 体	連 結
売上高	14,400	17,000
営業利益	750(5.2%)	900(5.3%)
経常利益	850(5.9%)	1,000(5.9%)

顧客の視点

顧客満足度の向上

- 市場ニーズと競合分析に基づいた製品開発とタイムリーな市場投入。
- 南海らしい特徴、独自性ある製品づくり。
- 海外生産によるコスト減と品質向上の両立。

業務の視点

全社レベルの目標

顧客の視点を達成するための戦略。

どのように(こうすれば)このようになる。

そのためには、誰が、いつまでに、なにを、どうする。

■ 開発

(付加価値のある環境にやさしい製品づくり)

■ 顧客、業務

(業務の効率化と正確さおよび内部コミュニケーションの重要性)

■ 社会性

(コンプライアンス体制づくりと運用「内部統制含む」)

学習の視点

顧客、業務の目標、理念、方針を達成するためには

- 組織管理(マネージメント)能力の向上。
- 当社が求める人材像に基づいた人材育成計画と実施。
- 自由闊達に議論し実行できる企業風土づくり。

当中間期の概況

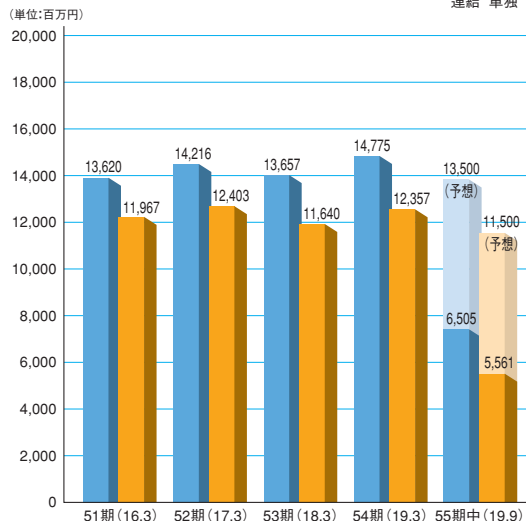
わが国の経済は、企業収益の回復を背景に設備投資は増加し、個人消費も底堅く推移して景気は回復基調を持続しました。しかし、新設住宅着工戸数は6月に施行された改正建築基準法の影響を受け、前年を大幅に下回る19.7%減少の53万3千戸となりました。

このような状況のなか、当社グループでは、木材関連事業、電線関連事業等ともに積極的な提案営業活動の展開により製品の拡販に努めました。木材関連事業におきましては、販売ターゲットをマンション市場、地方ゼネコン、地方ホームビルダー等に絞り込み、収納材製品を中心に営業活動を行いました。収納材製品は、基本プランをベースに、設置スペースに合わせサイズを調整できるオーダーズカットシステムの提案を行いました。好評なアルミ製オープン階段は、より使いやすくなるための改善を行い拡販に努めました。また、新製品開発では、優れた光触媒型塗料を天井材にコーティングした光触媒消臭天井を開発し発売いたしました。

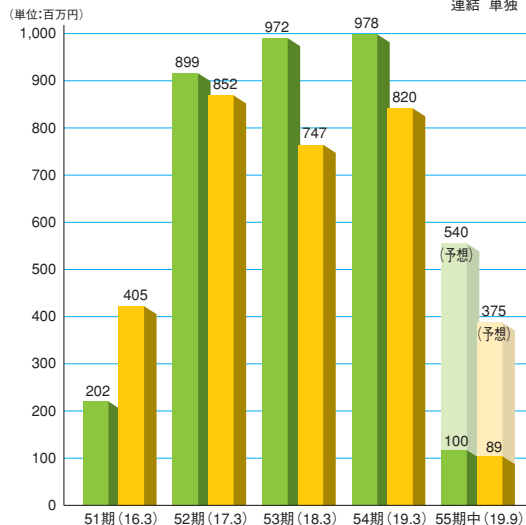
一方、電線関連事業等につきましては、公共設備投資および大型物件の減少が続くなか、地域密着型の積極的な営業活動を展開することにより建設物件の獲得に努めました。

以上の結果、連結業績は、売上高65億5百万円（前年同期比8.1%減）、営業利益1億45百万円（同54.0%減）、経常利益1億円（同80.9%減）、中間純損失19百万円（前年同期は中間純利益3億21百万円）となりました。

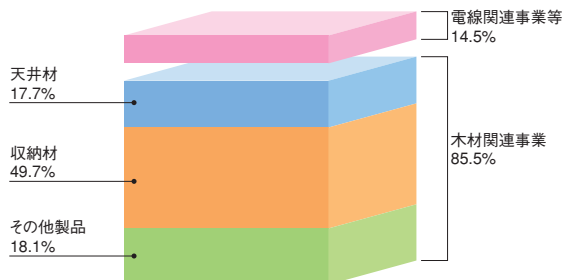
▼売上高の推移



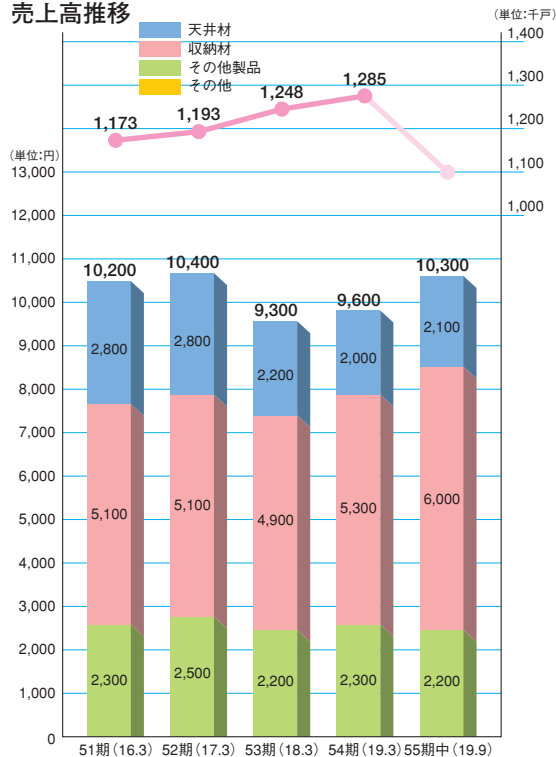
▼経常利益の推移



▼セグメント別の連結売上高構成



▼新設住宅着工一戸当たりの木材関連事業の売上高推移



注) 売上高は、外部顧客に対する売上高であります。

通期の見通し

わが国の経済は、堅調な企業収益に支えられ景気の回復基調が続いていくものと予想されますが、原油価格ならびに原材料価格の高騰等による企業収益への影響が懸念されるところであります。住宅業界におきましては、新設住宅着工戸数の減少が一時的なものと期待しておりますが、非常に厳しい状況が続いていくと推測されます。

当社グループといたしましては、引き続き経営基盤の強化に取り組み、グループの業績拡大を図っていく所存であります。木材関連事業におきましては、収納材のトップメーカーを目指した販売戦略に基づき、顧客要望の製品供給システムの提案により収納材製品の拡販に努めてまいります。また、収納材製品のコストダウンを図るため海外子会社との連携を強めてまいります。

一方、電線関連事業等につきましては、経営基盤の強化に努めるとともに販売先の拡大を目指し、積極的な営業活動を展開することにより、継続した収益の計上ができる企業に改善してまいります。

通期の連結業績は、売上高135億円（前年同期比8.6%減）、営業利益5億30百万円（同16.1%減）、経常利益5億40百万円（同44.8%減）、当期純利益2億95百万円（同46.3%減）になるものと予想しております。

連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表

	当中間連結会計期末 (平成19年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成19年3月31日現在)
■資産の部		
流 動 資 産	9,201	10,205
現 金 及 び 預 金	1,089	1,495
受取手形及び売掛金	2,756	3,291
た な 卸 資 産	4,782	4,491
デリバティブ債権	242	300
そ の 他	335	656
貸 倒 引 当 金	△3	△29
固 定 資 産	9,810	9,824
有形固定資産	8,316	8,180
建 物 及 び 構 築 物	2,400	2,313
機械装置及び運搬具	1,084	957
工 具 器 具 備 品	53	56
土 地	4,773	4,763
建 設 仮 勘 定	4	90
無形固定資産	99	108
投資その他の資産	1,394	1,536
投 資 有 価 証 券	691	822
長 期 貸 付 金	118	132
そ の 他	585	581
貸 倒 引 当 金	△1	—
資産合計	19,012	20,030

(単位:百万円)

	当中間連結会計期末 (平成19年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成19年3月31日現在)
■負債の部		
流 動 負 債	1,921	2,618
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	1,074	1,556
短 期 借 入 金	200	300
未 払 金	253	287
未 払 法 人 税 等	70	172
未 払 消 費 税 等	49	55
賞 与 引 当 金	158	111
そ の 他	115	134
固 定 負 債	431	532
退 職 給 付 引 当 金	121	117
役員退職慰労引当金	28	61
そ の 他	281	353
負債合計	2,352	3,151
■純資産の部		
株 主 資 本	16,385	16,525
資 本 金	2,121	2,121
資 本 剰 余 金	1,865	1,865
利 益 剰 余 金	12,467	12,605
自 己 株 式	△68	△67
評価・換算差額等	257	339
その他有価証券評価差額金	126	195
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	55	95
為 替 換 算 調 整 勘 定	75	48
少 数 株 主 持 分	16	14
純資産合計	16,659	16,879
負債・純資産合計	19,012	20,030

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	当中間連結会計期間 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	前中間連結会計期間 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで
売 上 高	6,505	7,075
売 上 原 価	4,589	5,043
売 上 総 利 益	1,915	2,032
販売費及び一般管理費	1,770	1,717
営 業 利 益	145	315
営 業 外 収 益	82	223
営 業 外 費 用	127	13
経 常 利 益	100	525
特 別 利 益	13	13
特 別 損 失	9	59
税金等調整前中間純利益	104	479
法人税、住民税及び事業税	63	134
法 人 税 等 調 整 額	58	21
少 数 株 主 利 益	1	2
中間純利益(△純損失)	△19	321

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当中間連結会計期間 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	前中間連結会計期間 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	161	1,091
投資活動によるキャッシュ・フロー	△344	△68
財務活動によるキャッシュ・フロー	△220	△521
現金及び現金同等物に係る換算差額	△288	12
現金及び現金同等物の増減(△)額	△404	513
現金及び現金同等物の期首残高	1,485	1,258
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,081	1,771

個別財務諸表の要旨

貸借対照表

(単位:百万円)

	当中間会計期末 (平成19年9月30日現在)	前事業年度 (平成19年3月31日現在)
■資産の部		
流 動 資 産	7,204	7,652
固 定 資 産	10,762	11,025
資産合計	17,967	18,678
■負債の部		
流 動 負 債	1,236	1,525
固 定 負 債	360	464
負債合計	1,597	1,989
■純資産の部		
株 主 資 本	16,206	16,409
資 本 金	2,121	2,121
資 本 剰 余 金	1,865	1,865
利 益 剰 余 金	12,288	12,490
自 己 株 式	△68	△67
評価・換算差額等	163	279
その他有価証券評価差額金	107	184
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	55	95
純資産合計	16,369	16,689
負債・純資産合計	17,967	18,678

損益計算書

(単位:百万円)

	当中間会計期間 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	前中間会計期間 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで
売 上 高	5,561	5,999
売 上 原 価	4,049	4,386
売 上 総 利 益	1,511	1,612
販売費及び一般管理費	1,468	1,419
営 業 利 益	43	193
営 業 外 収 益	96	215
営 業 外 費 用	50	12
経 常 利 益	89	396
特 別 利 益	—	12
特 別 損 失	74	58
税引前中間純利益	14	350
法人税、住民税及び事業税	49	107
法 人 税 等 調 整 額	48	36
中間純利益(△純損失)	△82	206

NEWS RELEASE



ALUMINUM+STAIRS
lumist

アルミ製オープン階段
ルミスト



いつも新鮮であること。

手摺の種類や、オプションパーツを増やす、細かな仕様を変更し、より使いやすくする。新しいカラーを追加する。製品の人気は、製品の進化によって維持されています。

NEW COLOR DEBUT !

NEW

White

ホワイト



NEW

Black

ブラック



Matstain

マットステイン



アルミに新しいカラーが登場

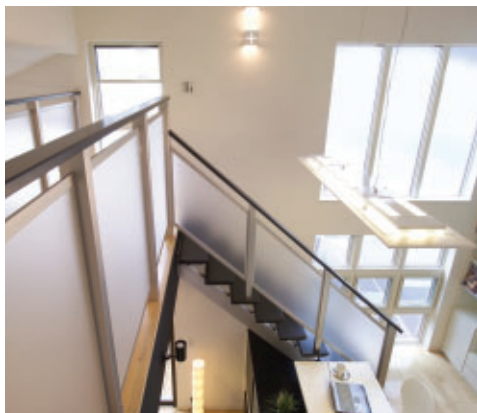
ナチュラルでやさしい表情をみせるホワイト。
モダンでシャープな存在感をみせつけるブラック。
階段踏板や、床・建具など
木質インテリアとの組み合わせにより
調和のとれた空間デザインを演出できます。

NEW FORM DEBUT !



3段廻り階段が登場予定

アルミ製オープン階段「ルミスト」に、待望の3
段廻り階段がこの冬新たに登場予定。掛幅を
充分に取れないお部屋にも、オープン階段を設
置いただけます。踊場を設置するL型タイプに
比べ、省スペース&省コストを実現させます。



シンプルで美しいデザイン。使いやすい間取り。太陽を感じる充分な採光。開放的で個性が光る空間演出。
我が家に欲しいもの全部。「階段」をオープンにすると全部すっきり実現しました。

Eat-Sick CEILING

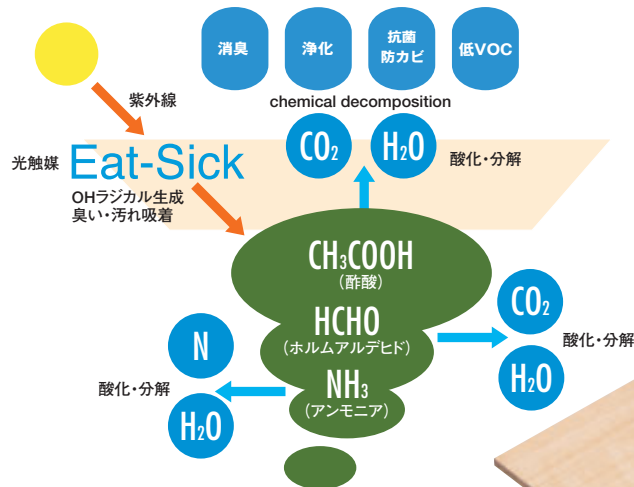
光触媒消臭天井
[イートシック・シーリング]

MORE CLEAN
MORE SAFETY



優れた光触媒型塗料を天井材にコーティングした 画期的製品の登場です。

イートシックは光触媒のテクノロジーを利用した画期的な塗料です。太陽光や蛍光灯に含まれる紫外線が当たると生成されるOHラジカルの強力なパワーで酸化・分解作用で脱臭・抗菌・防汚・空気浄化の効果を発揮し室内環境をクリーンに改善します。



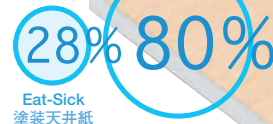
CLEAN & SAFETY!

LIFE STYLE DESIGNING COMMODITY

笑顔で暮らせる安心の毎日をデザインング。

光触媒消臭天井イートシック・シーリングは消臭・抗菌効果のみならずVOC（揮発性有機化合物の総称）の酸化・分解にも効果があります。ユーザが求める「もっとクリーンに、もっと安全に」のライフスタイルをカタチにしました。南海プライウッドはこうした時代や暮らしのニーズを採り入れ安全と安心をデザインし製品化いたします。

①アンモニア 残存率 (20回目の試験結果)



②ホルム アルデヒド残存率 (12回目の試験結果)



臭気物質の吸着・分解繰り返し試験結果でもイートシック塗装天井紙は未塗装紙と比較してアンモニアの残存率が約1/3、ホルムアルデヒドの残存率が約1/4と有害物質の吸着・分解性能の高さを示しています。安全で安心な室内環境を提供いたします。

子会社のご紹介 SENTUHAMONI SDN.,BHD.



セントハーモニ社のエダ工場は、マレーシアのボルネオ島サバ州の東部、インドネシアとの国境付近にあるタワウという町の郊外にあります。

現在生産している品目は、栈木、アートランバー芯材などのモールドディング製品と框、廻縁、雑巾摺などのラッピング製品です。

原材料は、地元産のセラヤの原木を使用しております。原木の中には長さ20mを超えるものや、直径1mを超える巨木があり、ボルネオ島の自然のすごさを感じることができます。

これらの原木は乱伐、盗伐を防ぐため、1本ずつすべてマレーシアの林業省により厳しく管理されており、許可無くして運搬することさえ禁じられています。

何年も掛けて大自然で育った「木」を日本へ届けるため、製材、モールドディング、ラッピング加工を丁寧かつ効率良く行ない、生産工程や生産技術の見直しと、品質管理の強化に日々取り組んでおります。

商 号：SENTUHAMONI SDN.,BHD.

設 立：平成8年4月

代 表 者：取締役社長 大杉克彦(当社特別顧問)

所 在 地：NO.3367, TAMAN FUJI JALAN SIN ON, 91000 TAWAU SABAH, MALAYSIA

資 本 金：250,000マレーシアンリングギット

株主構成：南海プライウッド株式会社 100%

事業内容：木材関連事業(木材加工業)

生産品目：天井用裏栈木、アートランバー芯材、
ラッピング造作材

生産数量：約800m³/月

工場敷地面積：30,000m²

従業員数：293名(平成19年6月30日現在)



株式の状況

(平成19年9月30日現在)

総数

発行可能株式総数 20,000,000株

発行済株式総数 10,095,800株

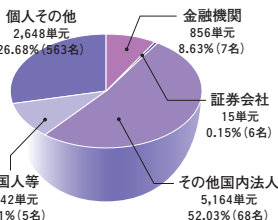
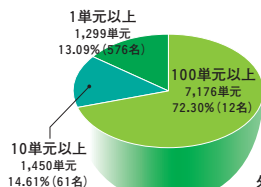
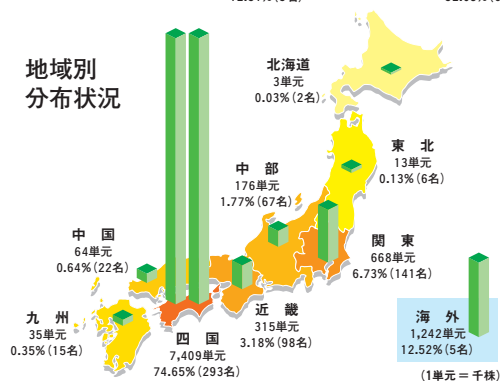
株主数 733名 (前期末比21名減)

大株主

株主名	持株数	議決権比率
南海興産株式会社	2,943千株	30.21%
財団法人南海育英会	1,554	15.95
エスアイエス セガ インターセトル エージー	509	5.22
株式会社百十四銀行	467	4.79
ソエティ シネマール エアール エイソー デイティ	379	3.89
丸山 修	344	3.53
株式会社愛媛銀行	243	2.49
南海プライウッド株式会社	186	0
クラリデン ロイ リミテッド	183	1.87
株式会社百十四ディーシーカード	128	1.31

所有単元数別分布状況

所有者別分布状況

地域別
分布状況

会社概要

(平成19年9月30日現在)

商号 南海プライウッド株式会社
 本 社 〒760-0067 香川県高松市松福町一丁目15番10号
 電話 087 (825) 3615 (代表)
 Eメール np@nankaiplywood.co.jp
 http://www.nankaiplywood.co.jp

設立 昭和30年4月16日
 資本金 21億21百万円
 従業員数 391名 (連結1,481名)
 事業内容 建築内装材の製造・販売
 事業所 志度工場
 〒769-2101 香川県さぬき市志度5388番地
 物流センター
 〒769-2314 香川県さぬき市造田乙井170番地1
 朝日新町倉庫
 〒760-0064 香川県高松市朝日新町28番1号

役員

(平成19年9月30日現在)

代表取締役社長	丸山 徹	取締役・執行役員	藤村 岳志
代表取締役専務執行役員	山口 時弘	取締役・執行役員	正箱 孝史
常務取締役執行役員	田井 雅士	取締役・執行役員	丸山 宏
取締役相談役	丸山 修	常勤監査役	高松 幸雄
取締役・執行役員	立花 俊憲	監査役	大川 俊徳
取締役・執行役員	小紅 正晴	監査役	岩部 達雄
		監査役	村田 剛

株主メモ

- 事業年度 / 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 / 6月
- 基準日 / 3月31日 (その他必要があるときは、予め公告する一定の日)
- 株主名簿管理人 / 株式会社だいこう証券ビジネス
- 同事務取扱場所 /
 〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号
 株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部
 - 株式事務各種問合せ フリーコール電話番号 0120-255-100
 - 株式関係手続用紙請求先 フリーコール電話番号 0120-351-465
 - インターネットホームページ <http://www.daiko-sb.co.jp>
- 同取次所 / 株式会社だいこう証券ビジネス 各支社
- 上場証券取引所 /
 株式会社大阪証券取引所 市場第二部 (証券コード 7887)
- 公告方法 / 日本経済新聞に掲載いたします。



南海プライウッド株式会社



古紙配合率100%再生紙を使用しています